取付説明書

２メディア／３レベル対応VICSユニット

VIX104
VIX110

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
販売店様へ
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

●もくじ

取り付ける前に	安全に正しくお使いいただくために 構成部品 取り付け概要図
接続について	システム接続例
取り付けについて	VICSアンテナの取り付け

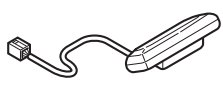
FUJITSU TEN

●安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと 知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

⚠警告

●本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。

●本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

●車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行う。火災の原因となります。

●車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

●取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずす。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

●本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。

●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

●エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

●視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因となります。

●ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

⚠注意

●本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

●必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

●しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

●本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

●車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

●コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

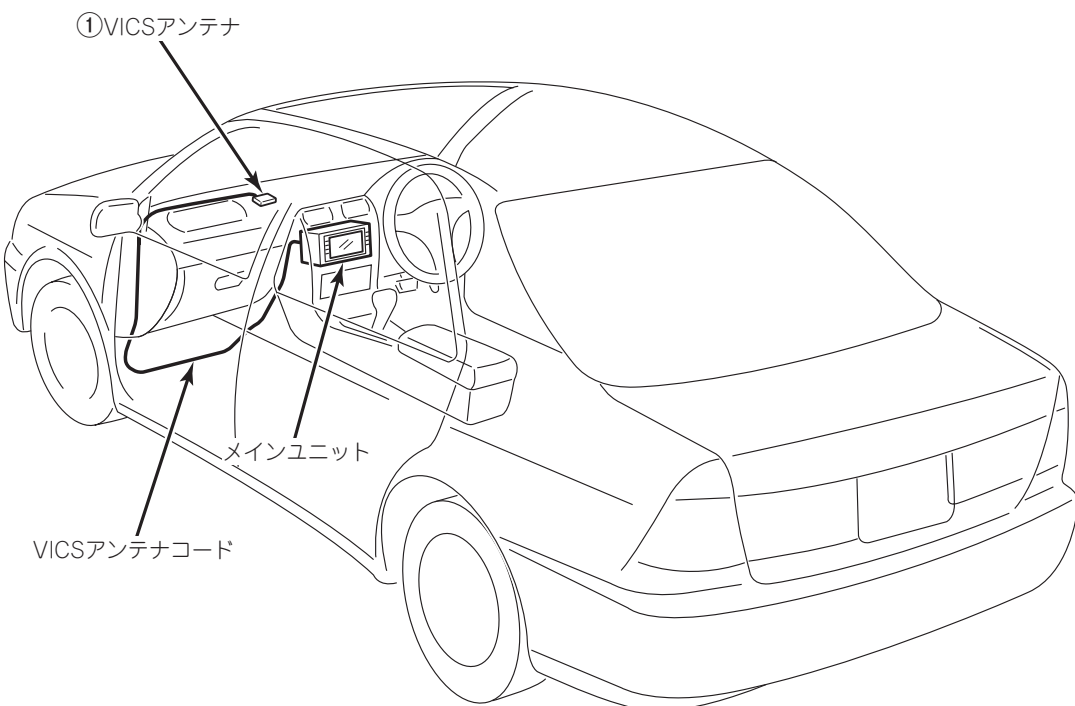
●コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

●本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

●本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

●構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●取り付け概要図

●システム接続例

⚠警告

●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

- メインユニットに接続する前に取付及び配線を行ってください。
- 機種によりメインユニットの背面端子が異なります。必ず接続するメインユニットの取付説明書を参照ください。

■ メインユニットのVICS用コネクタが4Pの場合

⚠注意

●VIX104を接続するときは、別売のVIXH104が必要です。

■ メインユニットのVICS用コネクタが6Pの場合

●VICSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

⚠警告

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

●本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

●エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

⚠注意

●車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

●しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

アドバイス

VICSアンテナは、車室内のダッシュボード上へ取り付けてください。その他への場所への取り付けは行わないでください。

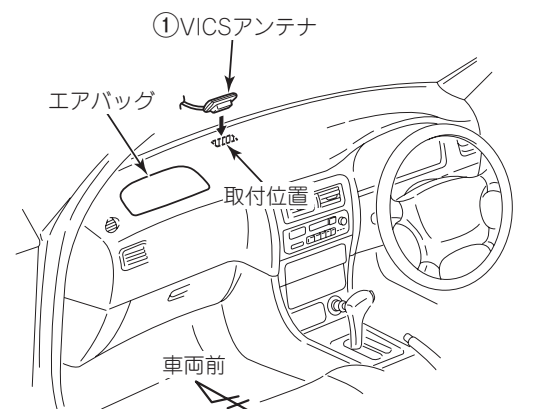
アドバイス

- VICSアンテナは、ワイパーブレードの影になる場所には取り付けないでください。
- VICSアンテナは車両側面から見てフロントピラーに重なる位置に取り付けないでください。

1 VICSアンテナの取付位置を決める。

アドバイス

VICSアンテナの取付位置を決める際、以下の事項に注意してください。

- 運転者の視界の妨げとならないこと。
- エアバック作動時の妨げとならないこと。
- GPSアンテナが室内置きの場合GPSアンテナより20cm以上離す。
- VICSアンテナの取り付けは、なるべく水平な場所を選び、ダッシュボードの傾斜角度が30 °以内の場所に取り付けてください。
  但し、ダッシュボードの傾斜角度が± 10 °以上の場合は、角度調節プレートを使用して取り付けてください。
- フロントガラス内側の清掃の妨げにならないこと。
- デフロスタ【フロントガラスとダッシュボードの間のエアコン噴き出し口】の性能を妨げないこと。
- ダッシュボードの左側に取り付ける場合は、車両前方に対して、時計方向に3 ～ 10 °傾けて取り付ける。

■ 角度調整プレートを使用しない場合

2 VICSアンテナの両面テープハクリ紙をはがし、VICSアンテナをダッシュボードに取り付ける。

アドバイス

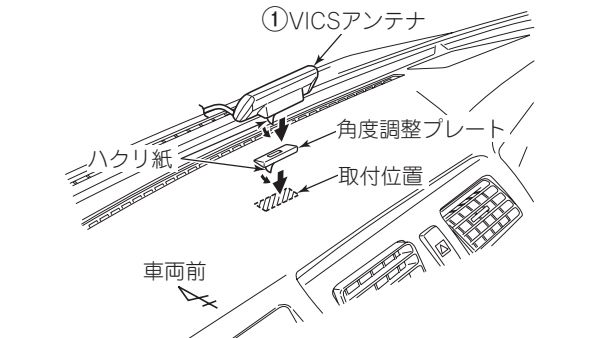
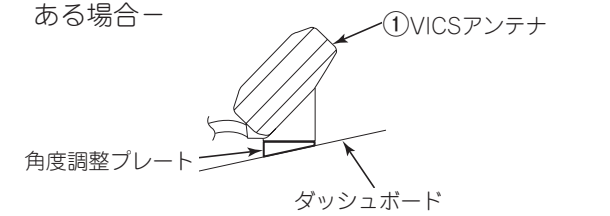
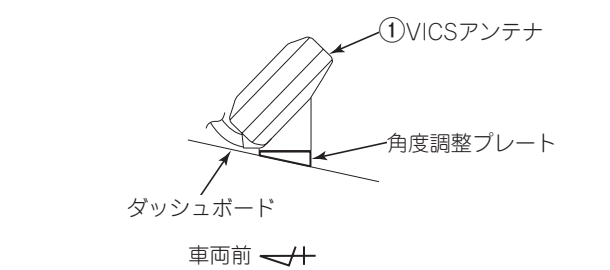
- 貼り付けた後は、確実に密着するよう十分に押しつけてください。
- 貼り付ける前に、貼付位置の汚れ、水分、油分を十分に拭き取ってください。

■ 角度調整プレートを使用する場合

3 VICSアンテナの両面テープハクリ紙をはがし、VICSアンテナを角度調整プレートに取り付ける。

4 角度調整プレートの両面テープハクリ紙をはがし、ダッシュボードに取り付ける。

アドバイス

- 貼り付けた後は、確実に密着するよう十分に押しつけてください。
- 貼り付ける前に、貼付位置の汚れ、水分、油分を十分に拭き取ってください。
- ダッシュボードの傾斜角度により、角度調整プレートを使用してください。
- ダッシュボードの傾斜方向により、角度調整プレートの向きを変えて取り付けてください。

－ダッシュボードが室内側に角度がある場合－

5 VICSアンテナコードをクランプで固定する。

6 VICSアンテナコードをフロントガラスとダッシュボードの隙間に押し込み配線する。

アドバイス

VICSアンテナコードがダッシュボードからはみ出す場合は、テープを巻き付けてフロントガラスとダッシュボードの隙間に収めてください。

7 VICSアンテナコードをメインユニット取付位置まで配線する。

アドバイス

- ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降も同様に行ってください。
- アンテナコードは折り曲げないように配線してください。
- アンテナコードの余長は、リング状に束ねて固定してください。

090003-31580700
1004 (CN)